

「女性と健康」

「男性よりも女性が長生き」「便秘になりやすいのが女性で、下痢になりやすいのが男性」こんなセリフが会話の中で出てきたことはないでしょうか。おそらくこれらが最もよく知られている医学的根拠に基づいた性差だろうと思います。事実、日本人の平均寿命は男性79歳、女性86歳、女性の1000人中47人が便秘で、これは男性の25倍とされています。

そこで、ここ何年か注目を集めているのが、こうした男性と女性による『性差を考慮した医療』です。鹿児島県でも女性が抱える様々な健康問題に対応すべく『女性外来』や『女性のための専用相談窓口』など

保健師だより



女性にやさしい医療機関を推進しています。そういった女性を配慮した医療の需要が高まるなか、今回は女性特有の病気に

ついてお話ししたいと思います。女性の場合、女性ホルモンの増減が健康に与える影響がとても大きいです。とくに女性ホルモン

ること、更年期障害や骨粗鬆症、肥満、高血圧、高脂血症などの生活習慣病が一樣に増加し始まります。特に男性の10倍もの疾患となっている骨粗鬆症は、本来女性の骨量が少ないことに加えて、エストロゲンの減少にともない骨量も急激に減少して

ることが分かっています。また、喫煙や食生活の欧米化による脂肪の摂りすぎなどで、近年増加傾向にある乳がんの発生にもエストロゲンが関係しています。男性にも当然乳腺があるのですが、男性でも乳がんはありますが、乳がんが女性に多い理由がそこにあるわけです。

10月は「鹿児島県ピンクリボン月間」です。ピンクリボンは乳がんの啓発運動のシンボルマークです。乳がんは自分で見つけることのできる唯一の「がん」です。しこりやくぼみはないか、日頃から意識して自己検診をしていただきたいです。また、大崎町では11月に乳がん・子宮がん・骨粗鬆症検診を実施します。早期発見された「がん」は、ほとんどが治る時代になっています。しかし、まだまだ意識が低い状況です（平成18年度の大崎町の乳がん検診受診率17.8%、子宮がん受診率14.6%）。自分のために、この機会にぜひ受診をお勧めします。

65歳以上の人のインフルエンザ予防接種が一部公費負担

65歳以上でインフルエンザ予防接種を希望される人は、**町内の医療機関**で、一部公費負担による接種を受けることができます。**医療機関に事前に予約をして、保険証と自己負担分500円を持参**し、接種してください。町外の病院で接種を希望される人（入院中等）は、役場保健福祉課へご連絡ください。

次に該当する人は、医療機関窓口で申し出てください。

- 生活保護を受けている人（自己負担分は免除されます。）
- 60歳から64歳で、心臓・じん臓・呼吸器に障害があり、身体障害者手帳1級の人（自己負担500円でインフルエンザ予防接種ができます。）

接種期間

平成20年10月15日（水）～平成20年12月31日（水）

【お問い合わせ先】 大崎町役場 保健福祉課 健康増進係 Tel476-1111（内線132）